

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 植物雌性配偶体をモデルとした細胞運命制御機構の解明
2. 研究代表者： 栗原 大輔(名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授)
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、植物雌性配偶体形成過程における細胞運命の決定・維持・転換に関わる分子メカニズムを解明することを目的としている。細胞内及び細胞間コミュニケーションという二つの視点から、ライブイメージング解析や一核発現解析（snRNA-seq）、オミクス解析を進める計画に従って研究が進められた。フェーズ1では、ライブイメージング解析により細胞板の形成順序や細胞化完了のタイミングを明らかにするなど、独自の強みを発揮しつつ研究が進展している点が評価される。一方、新たな手法の確立が求められる研究項目や、準備段階の研究項目も確認されている。フェーズ2では、当初の課題の解決に向けて、さらに焦点を絞った研究計画の立案とその成果の創出に注力いただきたい。

以上